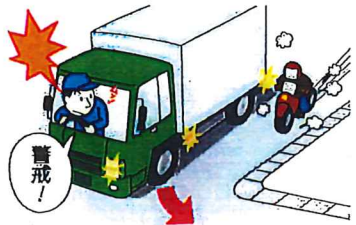


交差点事故の防止

(「左折巻き込み」の事故防止)

指導ポイント

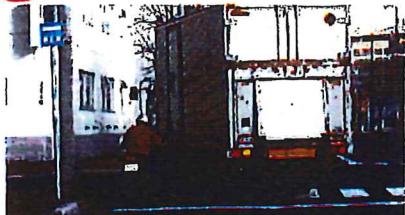


左側方の死角に対する

警戒心不足が

左折巻き込み事故を招く!

POINT 1 左折時、ハンドルを切る前に
左後方の安全を必ず確認!



減速して左折を開始したところへ、
後方から二輪車が突っ込んでくることも...

POINT 2 左側方の死角の中を
並進する二輪車に注意!



走行速度を変えたりしながら数回、
死角に二輪車がないかチェック

POINT 3 左側方からくる
自転車を警戒!



自転車の速度は意外に速く、
あっという間に接近してくる

POINT 4 目の前の歩行者が横断を
終えても、性急に左折しない!



他の歩行者が横断を
始めようとしているかも...

POINT 5 脇道に進入するときは、
内輪差を考慮!



左折時にガードレールや電柱などに
接触する危険がある

POINT 6 夜間は特に
無灯火の自転車を警戒!



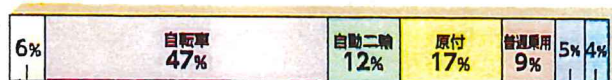
無灯火の自転車は、
暗闇に紛れて発見しにくい

Check!
左折時の事故、
どんな相手と
衝突している?

自転車との事故が半数近くを占め、
自動二輪車・原付との事故も多い

「左折事故」の相手当事者別発生状況

(人身事故)



歩行者

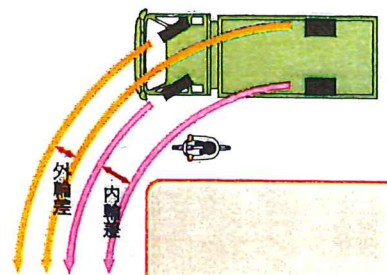
※全国・平成16～18年の平均概数。公益財団法人 交通事故総合分析センターの統計データにより分析
※事業用トラックが第一当事者または第二当事者になった事故の比率計

※トラック・大型貨物、中型貨物、普通貨物(ワンボックス・ライトバンを除く)、トレーラ
※軽自動車・軽乗用(ミニカーを含む)と軽貨物

軽自動車
その他
(トラック・バス等)

左折時は、
「内輪差」による巻き込みを
特に警戒しましょう!

★車長が長いトラックは左折時に車体の後部が
前部に比べてかなり内側を通ることになるため、
左側方の二輪車・自転車や、左折先の横
断歩道(自転車横断帯)を横断している歩行者・
自転車を巻き込む危険があります。



左折巻き込み
事故防止の
ポイント

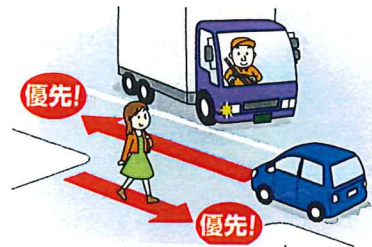
- ◆早めに左折の合図を出し、ハンドルを切るまでに断続的にミラーを見て、左側方や左後方に二輪車や自転車がいないかどうか確かめる。
- ◆二輪車や自転車が接近していたら無理をせず、先に行かせる。
- ◆左折中も、助手席側ドア下部の小窓を活用して安全を確認する。
- ◆左折先の横断歩道(自転車横断帯)を通過する前に必ず一時停止し、左方からくる歩行者や自転車の有無を確認する。

交差点事故の防止

(「右折時」の事故防止)

指導ポイント

直進車優先、歩行者・自転車優先の原則を守らなかったために発生した事故が多い!



POINT 1 対向右折車の陰からの直進車を予測!



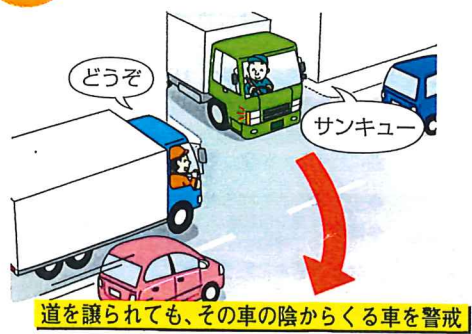
POINT 2 右折先の横断歩道上の歩行者・自転車の有無を確認!



POINT 3 接近中の二輪車がいたら通り過ぎるまで待つ!



POINT 4 「サンキュー事故」に要注意!



POINT 5 右折する前車の途中停止を予測!



POINT 6 渋滞の切れ目を右折するときは、道路端からくる二輪車を警戒!



POINT 7 特に夜間の右折時は、右側方からくる歩行者・自転車を警戒!



POINT 8 夜間は、対向車線上の二輪車の有無を意識的に探す!



Check!
右折時の事故、どんな違反が多い?

■事業用トラックの「右折時の事故」の違反種別発生状況
※全国・平成25～27年の平均概数。公益財団法人 交通事故総合分析センターの統計データにより分析
※第一当事者、自動車・原付との人身事故に限る
※トラック…ワンボックス・ライトバンを除く貨物車
※「交差点義務違反」…「右折違反」「左折違反」「優先通行妨害」「交差点安全進行義務違反」
※「その他の違反」…違反不明を含む

	前方不注意 3%	信号無視 14%	交差点義務違反 29%	脇道不注意 8%	安全不確認 39%	その他の違反 7%
事業用トラック						
事業用トラック以外	4%		35%	3%	44%	7%

「安全不確認」による事故が4割を占める。
また、他の車に比べ「信号無視」の割合が高い。